

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：開発農地における新規作物の導入

(3)秋期畝立てマルチ越年春作付け-初夏出荷体型を実現する施肥技術の検討

研究

秋期に施肥と畝^{うね}立て、春に作付けするハクサイの施肥法を検討

丹後地域の国営開発農地では加工契約野菜の導入が推進されており、新たに漬け物等向けハクサイの作付けが開始されています。しかし、3月下旬～4月上旬に定植する初夏どりハクサイの場合、1月～3月中旬は積雪や融雪水の影響で定植前の作業が困難な場合があります。

そこで、肥効調節型肥料等を利用し、秋期に畝^{うね}立てと基肥^{もとごえ}全量施肥を行う施肥法を検討しています。

本年度春の試験結果から、この施肥法に適した肥料の絞り込みを行い、来春の定植に向けた施肥・畝^{うね}立て・マルチを実施しました。同時に、畝内に分析用の肥料を埋設しました。今後、埋設した肥料を定期的に掘り出し、肥料成分の溶出量を調べます。



地温測定用センサを設置

一定量の肥料をお茶パック
に詰めて埋設します



掘り出した肥料の全窒素分析（ケルダール法）

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：開発農地における新規作物の導入

研 究

加工向け夏まきレタスの品種選定を実施

丹後地域では、国営開発農地を中心にキャベツ等のアブラナ科野菜の加工用契約栽培が推進されています。しかし、アブラナ科野菜の連作が進むにつれ、根こぶ病の多発等、連作障害が問題となっています。そこで当所では、アブラナ科以外の品目としてニンジン、レタス等を取り上げ、連作障害回避作目として現地へ導入できるよう検討を行っています。

加工用レタスとしては、球重が大きくかつ球が締まりすぎない品種が求められます。今月は、収穫期を3回に分けて調査を行い、品種毎の球の締まり具合（球緊度）及び収穫適期を調査しました。今後は、丹後の気候や国営開発農地の土質に適した品種と栽培方法を現地に提案できるよう、品種選定を行っていきます。



収穫調査の様子

農林センター（丹後農業研究所）

令和3年度宇治茶アカデミーを開校

当所は、宇治茶の情報発信拠点として、京都府内の茶生産者、流通・販売業者等を対象に、経営力や宇治茶の伝統や価値の発信力の向上、参加者の交流を目的として、令和3年度宇治茶アカデミー（全5回）を「時代の変化を意識して経営力を養う」をテーマにオンラインで開催しています。

11月25日開催の第1回は、38名の参加があり、京都市の老舗和菓子屋である亀屋良長（株）の吉村由依子氏から新商品開発について、「作り手の思いだけでなく消費者の望まれる商品を開発すること」、ネット販売アドバイザーである（株）たねをまくの高口大樹氏からECサイトでの効率的な農産物販売について、「販売開始1時間で商品が完売するためにすべきこと」などの講演を頂き、今後の経営に活かせることを意見交換しました。

受講者からは「お客様が商品を使うシチュエーションを想像しやすい商品作りをしていきたい」、「商品の魅力や希少性が一目で分かるコピーライティングなど購入したくなる仕組みを作っていきたい」などの感想がありました。

第2回は1月25日に福岡県八女市農業振興課の椎窓孝雄氏を講師に玉露の新たな可能性についての講演とグループワークを行います。



具体的な新商品を例に開発ポイントを確認
(吉村由依子氏 講演)

販売する時のチェックポイントを確認
(高口大樹氏 講演)

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：産地間競争に打ち勝つための新たな品目・価値の創造
新しい食べ方で消費拡大につながる伝統野菜の復活

研 究

カブの交配後代における根こぶ病の発病調査

当センターでは、京野菜を含む京都府産農産物の消費拡大につなげるための研究課題として、京都生まれの紫や赤色等の小カブ品種育成を進めています。

今回、京都生まれのカブを交配した後代を、根こぶ病*菌を含む土に播種し、「根こぶ病」の発病程度を調査しました。また、並行して DNA を分析し、発病程度と比較することによって、抵抗性に関わる遺伝子を探索します。

この研究を通じて、根こぶ病に強い個体を遺伝子レベルで選抜することが可能になり、品種育成のスピードアップを図ることができます。

※根こぶ病：アブラナ科作物の根に異常な肥大（こぶ）を生じて生育阻害や枯死を引き起こす、難防除の土壌病害。



根こぶ病菌を含む土で栽培した植物の根を洗っている様子



根こぶ病菌の発病程度：左から順に根が異常肥大した罹病性の個体、こぶの発生がない抵抗性の個体

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：熟果生産に適した伏見とうがらし F₁ 品種の育成

研 究

伏見とうがらし^{あおがれびょう}新品種候補の青枯病抵抗性を評価

当センターでは、伏見とうがらしの赤色熟果の生産で問題となる、草勢の低下やしおれ果発生などの欠点を改善した新たな品種の育成に取り組んでいます。

11月には、土壌伝染性病害である青枯病^{あおがれびょう}に対する抵抗性を評価するため、青枯病菌を接種した土壌に新品種候補の苗を植え付けました。植え付けから約2週間後の時点では、各新品種候補の発病程度は罹病性の品種と比べて小さく、伏見とうがらしと同程度でした。

今後は、発病程度の調査を継続して行い、青枯病抵抗性を評価するとともに、接ぎ木栽培等現地での栽培方法を検討する予定です。



青枯病抵抗性評価試験の様子

黄：伏見とうがらし、赤：新品種候補、青：罹病性品種

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：黒ダイズへの「まめリッチ」施用による効果安定技術の確立

研 究

府内の黒ダイズにおける黒根腐病くろねぐされびょうの発生実態を調査

京都府内の黒ダイズでは、土壌伝染性病害の黒根腐病くろねぐされびょうによって株が枯死し、収量が大きく低下する被害が発生しています。本病害の府内での発生実態については、これまで詳細に調べられていませんでした。そこで、当センターでは、黒ダイズの収穫期が近づいた11月に、丹後、中丹及び南丹地域において発病調査を行いました。

調査の結果、本病はほ場によって発生程度が大きく異なることが分かり、約7割の株が枯死しているほ場も見られました。今後は、調査結果をまとめるとともに、各地域及びほ場ごとに防除対策の構築を図ります。



黒根腐病甚発ほ場
(約8割の株が枯死)



黒根腐病感染株の根部
(細かい根が無くなる「ごぼう根」状態
となって株は枯死する)

(令和3年11月試験研究業務月報)

試験研究課題：京地どりの美味しさに関する肉質の調査

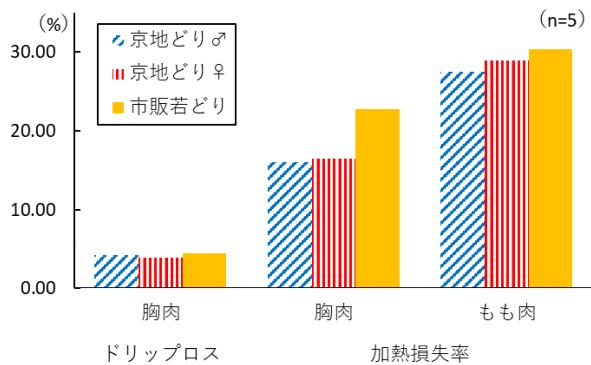
研究

京地どりの詳細な肉質調査を実施

当センターが平成29年度にリニューアルした京地どり（大型軍鶏^{しやも}♂×横斑^{おうはん}プリマスロック♀）の肉は市販の若どり（ブロイラー）より歯ごたえがあることが分かっていますが、さらに詳細な肉質の特徴を把握するため、物理的な特性を調査しました。

生鮮肉を保存している間に失われる水分を測定するドリップロス、加熱により失われる水分を測定する加熱損失率を市販の若どりと比較しました。ドリップロス、加熱損失率ともに京地どりでの損失が少なく、ジューシーであることが確認できました。

今後はアミノ酸など鶏肉の味に関係する調査も実施し、総合的な評価に繋がっていきます。



ドリップロス・加熱損失率

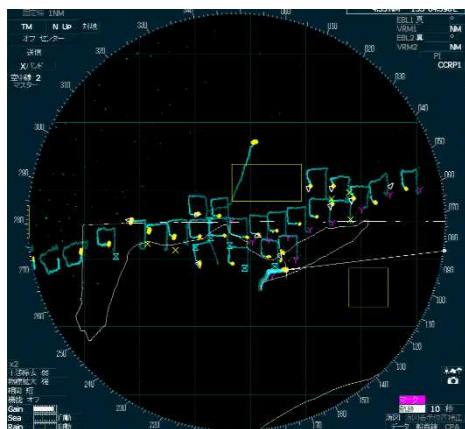


歯ごたえとジューシーさを兼ね備えた
京地どり

ズワイガニ漁が解禁

11月6日のズワイガニ漁解禁に合わせて、漁業巡視艇「らくよう」に乗船し、解禁時の操業の様子を視察しました。解禁前の23時頃になると京都府、福井県および兵庫県の底びき船が府沖合のカニ漁場を集まり、0時になると一斉に操業を開始しました。航跡からは、狭い間隔で互いの網が交差しないように操業している様子が確認されました。

水揚げされたズワイガニは、当日中に府内の市場で初競りにかけられました。今年度の解禁時の漁獲量はメスガニでは昨年度よりも多め、オスガニでは昨年度よりも若干少なめでした。全般に高値で取り引きされ、間人市場^{たいぎ}ではオスガニ5尾が最高70万円で落札されました。今年度のズワイガニ漁については、メスガニが12月31日まで、オスガニが来年の3月20日まで行われます。



操業時の底びき船の航跡図



ズワイガニを水揚げしている様子

京都府農林水産技術革新創出会議（KAFF-tech フォーラム） 第5回情報交換会の開催

京都府農林水産技術革新創出会議（通称:KAFF-tech フォーラム[※]）第5回情報交換会を11月26日（金）に開催しました。

本フォーラムへは、当センターの各研究部門をはじめ、食品、機械、情報等の農林水産業以外の異業種、異分野の企業・大学などが参画しており、今回の情報交換会には66名（うち企業・大学など23団体36名）が参加しました。

話題提供として、京都府の農林水産業の現状や京都府の農林水産研究機関について説明、そして京都府と企業等とで連携した産学公連携事例について情報発信しました。その後、当センターを含む参加者によるポスターセッション形式の情報交換会を通じて様々な情報交換が行われ、参加者からは「今後の研究開発の参考にする」「次回に向け提案できることを練り上げていきたい」などコメントがありました。

今後は情報交換で提案されたシーズを検討する個別テーマ研究会を開催し、企業・大学などとの連携を図っていきます。

※ KAFF-tech フォーラム : Kyoto Agriculture, Forestry and Fisheries Technology Forum



話題提供



ポスターセッションでの情報交換